

測定する能力		
漢字・語彙力 <small>漢字や語彙を使いこなす力。漢字を使って論理的な文章を組み立てる力。</small>	論理的言語力 <small>日本語を論理的に扱う能力。一文の構造を論理的につかまえる力。「ことばのつながり」指示語、接続語などを論理的に扱う力。</small>	論理的読解力 <small>文章構造を論理的に解説する力。文と文との論理的関係、段落と段落との論理的関係。文章全体の論理構造を把握する力。趣旨を的確に把握し、小説などを客観的に読む力。</small>
	論理的思考力 <small>文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。おもに記述力・論述力。</small>	論理的表現力 <small>他者に向かって、論理的に話す力。論理的に思考し、自分の考えを論理的に書く力。</small>

《問題Ⅰ》

漢字・語彙力

(40点)

●解説

第一問

- (1) 秘密 (2) 通訳 (3) 画策
- (4) 看過

第二問

- (1) 馬耳 (2) 無我 (3) 深長
- (4) 心機

第三問

- (1) 忠誠 (2) 蔵書 (3) 意欲
- (4) 首脳

第四問

- (1) 高名な学者たちが激しい議論を交わした。
- (2) 塩酸は胃液の成分のひとつだ。
- (3) あと一時間で絵画の展覧会が閉幕する。

■配点

- 第一問 各2点 第二問 各2点
- 第二問 各3点
- 第四問 各4点(並べかえ・漢字 各2点)

◆解説

第一問

文脈から意味を考えましょう。単漢字を組み合わせて語句を作成するのですが、単漢字のそれぞれの意味もヒントになります。

第二問

四字熟語の問題です。読み・書き取り、意味が同時に試されます。

第三問

単に書き取りだけではなく、文脈上の意味をつかまえることが大切です。

第四問

助動詞・助詞を自立語につけて文節を作ります。
 (1) 主語は「学者たちが」で、述語は「交わした」です。「高名な」↓「学者たちが」「激しい」↓「議論を」↓「交わし

「か」。

- (c) 空所前でガリレオは、古い説を疑い、実験にもつき自由落下の法則を導き出しました。これを空所後で「自然の事実に基づかなくてはいけない」という信念を強く持っていた」と言いかえているので、「つまり」。

第三問

傍線部直前に「これで見ても」とあるの
で、「これ」が指す前文の内容が理由です。

第四問

直前にある鉄片と木片の話は具体例であり、さらに前の「比重の大きいものほど速く落ちる」が説の内容です。「落ちる」のは何か、主語を補いながら説明しましょう。

第五問

- (1) 「偉人の」↓「エピソードが」↓「書かれた」↓「本を」↓「借りた」「図書館で」↓「借りた」とつながるので、イ。
- (2) 「登山用の」↓「くつを」「じょうぶな」↓「くつを」「黒い」↓「くつを」「くつを」↓「はいて」↓「出かけた」とつながるので、オ。

《問題Ⅲ》

論理的読解力

(40点)

●解説

- 第一問 だが騒音で
- 第二問 (1) イ (2) ア (3) エ
- (4) ウ

第三問

「騒音は常

第四問

ウ

■配点

- 第一問 8点 第二問 各4点
- 第三問 8点 第四問 8点

◆解説

第一問

フクロウの音を頼りにした狩りについて語る文と、騒音のせいでフクロウが音を頼りにした狩りをできていないことを語る文を、逆接の「だが」でつないでいます。

第二問

- (1) 「石をたたきはじめた」音が、「人類最古の騒音」を指すので、イ。
- (2) 「騒音のせいでカエルの動きが鈍くなった」ことと、事故が増えたことの間

《問題Ⅱ》

論理的言語力

(40点)

●解説

- 第一問 ② ガリレオは ③ ガリレイは
- 第二問 (a) オ (b) エ (c) ア
- 第三問

第四問

ガリレオは数学の講義を熱心に立ち聞きしていたから。

第五問

いろいろの物体が地球の上で自由に落ちる場合、比重の大きいものほど速く落ちる(という説)

第一問

- (1) イ (2) オ

■配点

- 第一問 各3点 第二問 各3点
- 第三問 9点 第四問 10点
- 第五問 各3点

◆解説

第一問

② 傍線部の前をたどると、「任命された」の主語は「ガリレオは」であるとわかります。

③ だが「見つけ出した」のかというと、「ガリレイは」です。

第二問

- (a) 空所直前で医学を学びに大学に行ったガリレオが、直後で医学の勉強を好んでいないとあるので、逆接の「しかし」。
- (b) 空所前後で話題がちがうので、転換の

- に因果関係があるので、ア。
- (3) 石器づくりや産業革命など、「騒音の歴史」の話題なので、エ。
- (4) 騒音と生態系の関係が「未知の領域」であり、研究が進んでいない点に触れているので、ウ。

第三問

前半は生物への騒音被害の調査結果であり、後半は生物への騒音被害が見過ごされてきたことを訴える筆者の主張です。

第四問

ア 問題が挙げられてはいますが、「対策をするべき」という主張までは述べられていません。

イ 「騒音の歴史」は生物への騒音被害を書いた本として紹介されていません。工 筆者は「歴史を振り返る必要性」を述べてはいません。

《問題Ⅳ》 論理的思考力

(40点)

●解答

第一問

- (1) おなかを空かせた老いたライオンが、わててにげるウサギを追いかけた。
- (2) メープルシロップの原料となる甘い樹液を出すことで有名なサトウカエデはカナダの国旗のシンボルだ。(カナダの国旗のシンボルであるサトウカエデはメープルシロップの原料となる甘い樹液を出すことで有名だ。)

第二問

(1) 家庭科の課題でイチゴのジャムを作った。

(2) 郊外の高台に登って美しい流星群を観察した。

第三問

ドロドロに溶かされた木材から作られるセロハンは、いわば透明な紙である。

第四問

自然界で生きるにあたりチョウの羽が果たす役割は種によって異なるため、羽の色も多種多様になる。

■配点

第一問 各5点

第二問 各5点

第三問 10点

第四問 10点

◆解説

第一問

(1) 「ライオンがウサギを追いかけた」が

文の要点です。「おなかを空かせた」と「老いた」を「ライオンが」につながるように、「あわててにげる」が「ウサギを」につながるように書きかえましょう。

(2) まず第3文の内容を「甘い樹液」を修飾する形に書きかえ、「サトウカエデはメープルシロップの原料となる甘い樹液を出すことで有名だ」という文を作りま

第二問

(1) 不要な語句は「食べて」と「新鮮だ」です。

(2) 不要な語句は「星が」と「降った」です。

第三問

②の文を「セロハン」を修飾する形に書きかえます。

第四問

最終段落の末尾で説明をまとめているので、これを参考にしましょう。ただし、チョウの羽の色が多種多様になる原因の「役割」について、言葉を補って説明しましょう。

《問題Ⅴ》 論理的表現力

(40点)

●解答

第一問

A 20

B 60

C 60

D 5

第二問

若い世代はスマートフォンでSNSを利用するのに対し、年配の世代はパソコンでSNSを利用する。

第三問

スマートフォンを通してSNSを利用する人の多い若い世代では、手軽にSNSのサイト・アプリを開きやすい環境があるために、アクセスする頻度が高くなるから。

■配点

第一問 各2点

第二問 12点

第三問 20点

◆解説

第一問

資料から読み取れる数値をそれぞれあてはめます。

第二問

資料2を見ると、年代が高くなるにつれてスマートフォンの使用率が下がり、パソコンの使用率が上がっているのがわかります。

第三問

会話文中でまさとが話した「パソコンではSNSを見るのに手間がかかるので、あまり利用する気にならない」という意見から、「スマートフォンであれば気軽にSNSを見れるため、よく利用する気になる」という考えを導き出せます。すると、「若い世代はSNSをスマートフォンで見ること」と、「若い世代はSNSのサイト・アプリを開く頻度が高いこと」との間の因果関係を説明することができます。SNSにアクセスする頻度が上がれば、当然、一日の合計の利用時間は長くなります。